

都市再生整備計画(第5回変更)

もいわやま やまはな あげほの ろ め ん でんしゃえんせん ち く
藻岩山・山鼻・曙(路面電車沿線)地区

北海道 さっぽろ
札幌市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	北海道	市町村名	札幌市	地区名	藻岩山・山鼻・曙(路面電車沿線)地区	面積	665.63 ha					
計画期間	平成	20	年度	～	平成	24	年度					
					交付期間	平成	20	年度	～	平成	24	年度

目標

- 大目標: 地域が潜在的に持つ魅力(文化、歴史、自然)を活かしたまちづくり
 目標1: 市街地に隣接し札幌市民の「心の山」である藻岩山の魅力アップ及び藻岩山の持つ資源、機能を活用したまちづくりの推進
 目標2: 文化、歴史の情報発信と新たな拠点施設の整備によるまちづくりの推進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・路面電車エリアの南に位置する山鼻・曙地区は、札幌市中央区の南側に位置しており、札幌市の開拓当初である明治9年の屯田兵入植によって開拓が始められ、大正7年に隣接する中島公園を会場に開催された開道50年記念博覧会や、大正12年の路面電車開通を背景にして、大正年間に宅地化が急速に進んだ地域である。
- ・当地区は、東屯田通や行啓通といった幹線道路にいち早く商店街が形成されるなど商業地域としても発展してきた。そのため、多数の歴史的建造物が散在しており、歴史記念館や水道記念館なども含め札幌の歴史を今に伝える貴重な地域である。また現在では、「札幌市の文教地域」として、各種学校、図書館、埋蔵文化財センター、文学館、ギャラリーなど文化施設も集積している。
- ・当地区に西接する藻岩山は、都心に隣接しながらも自然環境に非常に優れており、藻岩山原始林は大正10年に北海道第1号の天然記念物に指定されるなど、189万都市となった現在まで豊かな自然環境が保全されている一方、幅広い市民に対し、年間を通じて気軽に自然に親しむことができる場を提供している。
- ・藻岩山へのアクセス手段としては、登山道に加えて、昭和33年にロープウェイ、観光道路を整備した後、山頂展望台の整備(昭和45年)にあわせて、昭和46年にはロープウェイを再整備し、市街地を一望できる眺望、夜景の名所として、長期にわたり市民・観光客に好評を博してきたところである。
- ・しかし、当地区においても、時代の経過と変化に伴い、人口の郊外流出、大学・商業施設等の郊外移転、各施設の老朽化、路面電車の利用客の減少という状況が発生し、地域の賑わいが失われていった。
- ・このような状況から、札幌市では、地域が潜在的に持つ魅力を再生させることで、この地域のにぎわいを創出させたいと考えている。
- ・そこで、札幌市としては、路面電車の活用検討、藻岩山と連携した乗車券の発行、まちづくりセンターの機能向上による今後想定される団塊の世代を中心とした地域住民の街づくりへの参加、市民議論として「藻岩山の魅力アップ懇談会」「曙小学校跡地活用検討会議」など各種の対策を講じ、ハード面では、旭山記念公園の再整備事業、水道記念館のリニューアル、商店街が含まれる西屯田通の整備事業を既に着手し、街路事業による主要道路の改良と歩道のバリアフリーも実施する予定である。
- ・今後は、以下の2項目に力を入れる計画である。
- ①藻岩山関連施設について、藻岩山の自然環境とのふれあいの場、子どもたちへの環境教育の場、札幌を一望できるという藻岩山の特徴を活かし札幌の地勢・歴史について再認識する場の整備を行うとともに、市民、観光客、登山客、スキー客等の利便性向上とこれらとの交流、移動人口の拡大を図るため、都心、山鼻地区、藻岩山を結ぶ路面電車、ロープウェイをハード、ソフト両面で誰もがより利用しやすくするようにし、地域のにぎわいを再生する。
- ②閉校した曙小学校を有効活用し、札幌における明治、大正、昭和の歴史をもつ数少ない地域として、歴史や文化芸術活動の場を提供するとともに、「札幌コンサートホール kitara」をはじめとして、既に多数の文化施設が立地している中島公園に隣接するという地域特性を活用し、札幌市の文化・芸術活動の中心エリアとして地域のにぎわいの復活を図る。

課題

- 札幌市の発展とは裏腹に、地域の少子・高齢化が進み、かつての賑わいが失われていることから、地域の持つ潜在能力を再生、活用することにより、地域の活性化を図る必要がある。
- ・この地域に隣接した藻岩山は、都心部にある豊かな自然環境であると同時に市民の憩いの場としても活用できるという今後のまちづくりのための潜在的な魅力と素材を持っているが、施設の老朽化が進んでいること、バリアフリー対応がなされていないことなどの理由により十分な活用が困難な状況になっている。
 - ・藻岩山を活用する人の流れや都心部からの人の移動を路面電車の回遊性を活用して地区内の周辺施設に波及させる取り組みや、既存施設の有効活用による新たな魅力づくりの構築、各施設間及び商店街との連携が必要とされている。
 - ・今後の社会を見据えたうえで、コンパクトシティの取り組みを進めていく札幌市にとって、当該地域は少子・高齢化の進行に伴い発生する学校統合と校舎の跡利用、高齢者層のまちづくりへの参加や活動・交流の場の創出、商店街の再活性化などの課題を抱えていること、さらに豊かな自然環境に隣接し、地区内に路面電車という人にやさしい公共交通機関を有し、交流・移動人口の増加が可能となる地域であることなど、今後のまちづくりを考えていくうえで非常に重要な地域である。

将来ビジョン(中長期)

◎札幌市都市計画マスタープラン(平成15年度策定)

札幌市では、これからの都市づくりの目標を「持続可能なコンパクト・シティへの再構築」とし、都市全体では既存の市街地や都市基盤を再生、活用するとともに市街地の外の自然環境を保全し、身近な地域では居住機能を中心とした身近な範囲での多様な機能のまとまりをつくるとしている。路面電車沿線地区はその先駆的な地域として、過去において減少していた人口が、高齢者層を中心として増加する傾向がみられている。また、中心市街地に隣接する藻岩山は、都市住民の居住機能の充実・高度化を図っていく上で、非常に重要な役割を担っており、リラクゼーション、健康づくり、さらには周辺の文化・芸術関連施設と連携した学習の場等の機能を果たし、札幌の都市機能向上に不可欠なものとして再整備が必要とされる。

◎曙地区まちづくりガイドライン(平成11年度策定)

文化活動の交流拠点の設置を予定している曙地区は、将来の都心居住を担う重要な地域としてその再生が大きなテーマとなっており、地域と行政が地域課題をともに考え共有し、今後のまちづくりの目標を定めるためのガイドラインを策定している。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
藻岩山利用者数	人/年	藻岩山利用者	リラクゼーションエリアとしての魅力向上による入場者数の増	406,997人	H18	500,000人	H24
ロープウェイ利用者数のうち路面電車利用者数	人/年	ロープウェイ利用者のうち、路面電車使用割引の利用者	ロープウェイ山麓駅周辺のバリアフリー化等による路面電車利用者数の増	25,924人	H18	30,000人	H24
ロープウェイシニア割引利用者	人/年	ロープウェイ利用者のうちシニア割引(65歳以上)の利用者	施設のバリアフリー化による高齢者層の利用増	5,234人	H18	7,000人	H24
地域の歴史文化体験交流事業参加者数	人/年	地域歴史文化体験事業の参加者	地域の歴史文化体験交流プログラム参加者数の増	390人	H18	500人	H24
(仮称)あけぼのArt&コミュニティーにおける地域交流イベント実施	回/年	地域交流イベント実施数	地域住民との交流機会の増	1回	H18	4回	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1(市街地に隣接し札幌市民の「心の山」である藻岩山の魅力アップ及び藻岩山の持つ資源、機能を活用したまちづくりの推進)</p> <p>(1)コンパクト・シティへの再構築をこれからのまちづくりの目標としている札幌市において、市街地に隣接する藻岩山の豊かな自然環境資源の活用によって市民生活の質の向上を図っていく。 ・山頂を訪れた人が、自然環境に理解を深めつつ、学習や体験を通してリラクゼーションが行える場を創出する。</p> <p>(2)市内で最も古くから開拓された地域としての歴史をもち、文化関連施設が集積している路面電車沿線地区と豊かな自然環境と恵まれた眺望という資源を有する藻岩山が、それぞれの地域資源を再生し、路面電車という手段を活用することで連携を図り、札幌の新たな魅力を創出、発信していく。 ・札幌を一望に見渡せるという眺望環境を活用して、札幌の地勢、歴史、文化を関連付けて紹介し、内外に札幌を発信できる拠点として整備する。 ・拠点の整備とあわせて、NPO、市民団体などを支援し、山麓周辺の文化施設とも連携した歴史文化体験交流事業を実施する。</p> <p>(3)文化・歴史を紹介する施設や活動拠点が集積している路面電車沿線地区とバリアフリー・環境配慮をテーマに再整備を図る藻岩山、さらに都心エリアも含めた地域を市民、観光客が容易に回遊することを可能とし、交流人口の拡大によってにぎわいのある街を復活させる。 ・交通弱者への負担軽減のため、ロープウェイ施設の駅舎等をバリアフリー化するとともに、山麓から山頂までの導線に歩行支援施設の整備を行う。 ・利用者の利便性向上及び周辺地域の交通混雑の解消を図るため、公共交通機関(路面電車)停留施設、藻岩山アクセス箇所及び近隣のバリアフリー整備を進め、潤いのある藻岩山に誰もが気軽に訪れることができる環境整備を進めるとともに周辺地区の賑わいを創出する。 ・市街地との回遊性を高めるため、路面電車とロープウェイ、市街地の接続性を高める商品を販売し、藻岩山を活用して、観光客等の回遊人口を拡大する。</p> <p>(4)市民のリラクゼーション及び交流の場として相応しい環境の整備を図っていく。 ・山頂へのアクセス、給排水や、休憩場所などの環境を改善し、年間を通して市民が憩える基盤作りを行う。</p>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>(1)に関連する事業 【基幹事業】地域生活基盤(山頂緑地) 【基幹事業】高次都市施設(観光交流センター:交流スペース) 【基幹事業】高次都市施設(観光交流センター:自然紹介スペース) 【基幹事業】地域生活基盤(藻岩山中腹駐車場) 【提案事業】地域創造支援事業(自然学習歩道整備) 【提案事業】地域創造支援事業(散策路整備) ●関連事業 山頂複合施設整備 ●関連事業 森林体験型輸送施設整備</p> <p>(2)に関連する事業 【基幹事業】高次都市施設(観光交流センター:札幌紹介スペース) 【基幹事業】高次都市施設(観光交流センター:自然紹介スペース) 【基幹事業】地域生活基盤(観光案内情報板の設置) 【提案事業】札幌紹介施設映像プログラム 【提案事業】地域創造支援事業(地域の歴史文化体験交流事業)</p> <p>(3)に関連する事業 【基幹事業】道路(歩道改良) 【基幹事業】地域生活基盤施設(山麓駐車場整備) 【基幹事業】地域生活基盤施設(山麓駅下広場整備) 【基幹事業】高質空間形成施設(山麓歩行支援施設整備) 【基幹事業】高質空間形成施設(障害者誘導施設) ●関連事業 ロープウェイ及び駅舎改修 ●関連事業 森林体験型輸送施設整備 ●関連事業 シャトルバス運行 ●関連事業 都市計画道路事業3・2・10号環状通(ポケットパーク含む) ●関連事業 西屯田通歩道改良事業 ●関連事業 路面電車沿線マップの作成とその活用によるまちづくり事業 ●関連事業 路面電車を活用した沿線の活性化事業 ●関連事業 路面電車とロープウェイに係る社会実験事業</p> <p>(4)に関連する事業 【基幹事業】高次都市施設(観光交流センター:交流スペース) 【提案事業】給排水設備整備</p>
<p>・整備方針2(文化、歴史の情報発信と新たな拠点施設の整備によるまちづくりの推進)</p> <p>少子・高齢化が急速に進行する中で、学校統合の結果生じた閉校施設の活用、一方で都心に近いという利便性から高齢層を中心とした世代の流入というまちづくりの新たな課題が発生しているエリアをその地域が潜在的に持つ文化という魅力を使って活性化していく。 ・路面電車沿線地区の中心に既存建築物を活用した文化交流施設の整備を行う。 ・地域との交流を目的とした各種イベント及び文化芸術教室等のソフト事業を行う。</p>	<p>【基幹事業】既存建造物活用事業((仮称)あけぼのアート&コミュニティセンター) 【提案事業】既存建造物の一部取り壊し ●関連事業 路面電車沿線マップの作成とその活用によるまちづくり事業 ●関連事業 路面電車を活用した沿線の活性化事業</p>
<p>その他</p>	
<p>●藻岩山の施設整備にあたっては、当市において、市民との意見交換会・有識者懇談会等を実施し、それらの意見も取り入れた「環境配慮ガイドライン」を作成した。当ガイドラインに基づき、計画・設計・工事・供用等の進捗に応じ、環境配慮面についての確認を行っていく。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	760	交付限度額	304.1	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	760	うち、社会資本整備総合交付金対象事業	304.1		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0	うち、地域自主戦略交付金対象事業	0		

(金額の単位は百万円)

基幹事業①社会資本整備総合交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内			交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		事業費	うち官負担分	うち民負担分	
道路		藻岩山山麓通	市	直	380m	H22	H23	H22	H23	42	42	42		42
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		-			-									
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		-	市・榑札幌振興公社	直・間	-	H19	H23	H21	H23	307	307	91	216	53
高質空間形成施設		-	榑札幌振興公社	間	-	H21	H23	H21	H23	31	31	16	15	16
高次都市施設		-	市・榑札幌振興公社	直・間	-	H19	H23	H21	H23	73	73	61	12	61
地方都市リノベーション推進施設														
生活拠点施設														
既存建造物活用事業			市	直	-	H20	H21	H20	H21	397	397	397	0	397
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										850	850	607	243	569

…A'

基幹事業②地域自主戦略交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内			交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		事業費	うち官負担分	うち民負担分	
道路														
公園														
河川														
下水道		-			-									
合計										0	0	0	0	0

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

※H24以降分を記載

…A''

基幹事業 総計(①+②)														
総計										850	607	243	569	…A=A'+A''

都市再生整備計画の区域

藻岩山・山鼻・曙(路面電車沿線)地区(北海道札幌市)

面積

665.63 ha

区域

中央区南11条西9丁目、伏見5丁目、南区藻岩山等



